

第2回 ものづくり教育シンポジウム

日時：平成21年1月31日（土） 午前10：00～12：00

場所：愛知教育大学 美術技術家政棟 1階 会議室

題目：ものづくり教育を通して未来の教員・子ども達を育む

企画：特色GPものづくり教室（技術教育講座）

エネルギー・鉱産資源のない我が国は将来においても科学技術立国として活路を見出すしかありません。日本の将来を担う子ども達に「ものづくり」を根付かせ、「ものづくり」の裾野を広げていく必要があります。そのためには、子ども達が大好きな「ものづくり」の機会を多く作る必要不可欠です。また将来教員になる学生諸君にとっても「ものづくり教育」の重要性を認識する必要があります。

そこで、以下の3つの報告をもとに参加者の皆様と活発に議論し、ものづくり教育について認識を深める機会にしたいと思います。

プログラム：

1．愛知教育大学特色GPの取組について

松田正久（愛知教育大学・学長）

平成17年度から文部科学省の特色GP「大学教育支援プログラム：学生の学習活動及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ」として「科学教育出前授業等による学生自立支援事業」が採択され、今年度まで実施しました。取組概要並びにその目的意義について示します。

2．平成20年度GP「ものづくり教室」の実施と結果

大鹿雄志（愛知教育大学・技術専攻4年生）

赤塚 理（愛知教育大学・技術専攻4年生）

平成20年度に実施された「ものづくり教室」の実施と結果を報告します。パネリストを含め多くの参加者からご意見を戴き、今後の活動のありかたを考えます。

3．児童・生徒に対するものづくり教育への取組事例

中島敬康 （豊田市立足助小学校・校長）

山口克典 （刈谷市立東刈谷小学校・教頭）

伊貝 明 （稲沢市立東小学校・教諭）

石黒 健（名古屋市立守山東中学校・教諭）

服部雅司 （刈谷市立依佐美中学校・教諭）

ものづくり教育を積極的に実施されている学校の先生には実施されている内容を、また、学生時代にもものづくり教室を経験された先生には、教育現場においてその経験が活かされた内容について、それぞれご紹介していただきます。

***参加に当たり、事前の申込みは不要です。（参加費無料）**